



本市は、肉用牛・豚・乳用牛の飼育頭数がそれぞれ県内1位。さらに令和4年度の農業産出額を見ると肉用牛が180億円、豚が110億円、鶏や乳用牛等と合計して農業産出額の約75%となる345億円が産出されています。畜産業は本市の基幹産業であり、地元のお肉といえば「黒毛和牛」や「黒豚」を思い浮かべる人も多いのではないのでしょうか。

本市では、現在肉用牛は約680経営体が5万5千頭、豚は92経営体が19万6千頭を飼養しており、本市の人口の約2倍もの数の豚が飼われています。

黒豚は明治初期に、イギリスの「パークシャー」という品種の豚と鹿児島県在来の豚とによる品種改良が盛んに行われました。しかし昭和30年代半ばに白豚が導入されると一度

voice

Q 本市では黒豚って何頭くらい飼われているの？

黒豚の頭数は減ってしまいましたが、生産者や関係者の努力により高い品質とおいしい肉質が評価され、徐々に生産数も回復してきたという歴史があります。

では現在、黒豚がどれくらい本市で飼養されているかというと、黒豚の品種である「パークシャー」が約5万4千頭、その他の種が約14万2千頭飼養されています。

黒豚は産子数が少なく他の品種と比べて発育が遅いものの、肉は筋繊維が細かくて歯切れも良く、うま味をたっぷり含むという特徴があります。このようなおいしい豚をはじめとする業界全体の振興のため、本市はこれからも畜産環境対策に取り組み地域との共生を図りながら、担い手を増やすなどの施策に取り組みしていきます。

! 鹿児島で独自に品種改良された豚

鹿児島県ではパークシャー豚の品種改良が盛んに行われ、昭和57年の「サツマ」、平成3年の「ニューサツマ」、平成13年の「サツマ2001」、さらに平成27年には「クロサツマ2015」が完成しています。

鹿児島県黒豚生産者協議会 ホームページより引用

お手数ですが  
63円切手を  
お貼りください

8 9 3 - 8 5 0 1

POST CARD

鹿屋市役所 政策推進課

広報かのや

KANOYA 「読者のひろば」係 行

お名前／ふりがな

電話番号

ペンネーム ※未記入の場合、イニシャルで掲載します

年齢／性別

歳 男・女

ご住所 □□□-□□□□

プレゼント

クイズの答え

要・不要

皆さんからの  
お便りを募集

広報誌への感想や取り上げてほしい話題のほか、市へのご意見、地域のイベントや写真など多くの情報をお寄せください。

お便りの中から、抽選で特産品等をプレゼントします。たくさんのご応募お待ちしております！

※掲載時に原稿の一部を手直しする場合があります。

〒893-8501

鹿屋市共栄町 20-1

政策推進課

「読者のひろば」係

☎ 0994-31-1123